

# 週報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

since 1964

## 2026 年度年間聖句

「主は人の一步一步を定め  
御旨にかなう道を備えてくださる。」  
(詩編 37 編 23 節)



### どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半  
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時 ~10 時  
祈 禱 会 各水曜日  
○昼の聖書研究祈禱会  
(第3・午後2時)  
●夕の祈禱会  
(第2、第4・午後7時)

牧 師 井 殿 準

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65  
TEL. 042-742-1593  
FAX. 042-742-1393  
ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>  
郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計  
00290-4-80707

# 3215 2026 年 6 月 21 日

## 礼 拝 式 順 序

(聖霊降臨節第 5 主日)

司会者	梶田 敦子	奏 楽 者	
奏 楽 者	黒田 理佳		
前 奏		奏 楽 者	
招 詞	詩編 113:1b~3	司 会 者	
讃 美 歌	448 「お招きに応えました」	一 同	
聖 書	マタイ福音書 3:8~9 (新 P.4)	司 会 者	
使徒信条	(93-4-A)	一 同	
祈 禱		堂本牧師	
讃 美 歌	459 「飼い主わが主よ」	一 同	
説 教	「起きよ、石ころ」	堂本牧師	
祈 禱		”	
讃 美 歌	433 「あるがままわれを」	一 同	
献 金		”	
主の祈り	(93-5-A)	”	
頌 栄	26 「たたえよ、主の民」	”	
祝 禱		堂本牧師	
答 唱	40-6 「アーメン」	一 同	
報 告	~ 「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう~	司 会 者	
讃 美 歌	92 「主よ、わたしたちの主よ」	一 同	

- ・当教会では讃美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。

先週の説教要旨

「何ものにも縛られない心」

(使徒言行録 16:16~24)

フィリピの町で、パウロたちが「占いの霊に取りつかれている女奴隷」と出会い、彼女の内から「占いの霊」を追い出して彼女を解放すると、金もうけの望みがなくなったことに腹を立てた彼女の主人たちは、パウロとシラスを捕らえて役人に引き渡した。

二人は鞭で打たれた上で牢に入れられるが、真夜中ごろ、二人が牢の中で「賛美の歌をうたって神に祈っていると」、「突然、大地震が起こり、……たちまち牢の戸がみな開き、すべての囚人の鎖も外れてしまった」(16:25 以下)。パウロたちを見張っていた看守は、二人が逃げってしまったと思い込み、剣を抜いて自殺しようとするが、それに気づいたパウロは、牢の中から看守を制止した。パウロたちは、逃げる自由を与えられていたにもかかわらず、牢の中にとどまっていたのだ。

パウロとシラスは、キリストを信じることを通して、何ものにも縛られない自由な心を与えられ、獄中という絶望的な状況の中でも、賛美の歌を歌い続け、感謝と喜びに溢れる祈りを絶やさなかった(「助けてください」「ここから出してください」と言うばかりの祈りであったなら、他の囚人が彼らの賛美と祈りに「聞き入る」ことはなかったに違いない)。

このようなパウロとシラスの姿に接して心を動かされた看守は、家族と共に洗礼を受けている(16:33)。パウロたちの「獄中にあっても賛美して止まない自由」「どんな境遇にあらうと、神が共にあることを信じて、神をたたえて喜び祈る自由」「神の御手の内にあることを信じて、何ものも恐れない自由」「神の力を信じるが故に、未来を限定することなく、希望の内に生きる自由」、そのような何ものにも縛られない自由さにあこがれたのだ。そして、その自由へと我々も招かれている。否、我々はすでにその自由を与えられている。

様々なことが待ち受ける我々の日常であるが、神の愛にしっかり捕らえられている我々は、パウロとシラスのように、神をたたえながら、何ものにも縛られない心で、これからも力強く歩んで行こう。